

平成27年9月定例会 第94号

栄町議会だより

発行 栄町議会だより編集委員会

平成26年度決算を認定

平成27年第3回定例会（9月議会）が、9月8日から18日までの11日間の会期で開催されました。本定例会には、条例の一部改正4件をはじめ、指定管理者の指定、5会計の補正予算、平成26年度全5会計の決算認定など合わせて、19件の議案等が提出され、全議案が原案のとおり可決されました。
なお、今定例会における一般質問は6名、傍聴者は延べ14名でした。

議案審議

議案第1号 賛成多数
栄町行政組織条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に合わせ、住民課の分掌事務に番号法に規定する個人番号に関することを加えるものです。

議案第2号 賛成多数
栄町個人情報保護条例の一部を改正する条例

部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律（番号法）の施行に合わせ、同法に係る個人情報（特定個人情報）を一般の個人情報よりも手厚い保護措置を講ずることとする番号法の趣旨を踏まえ、適正な取扱いを確保するため、改正を行うものです。

議案第3号 賛成多数
栄町手数料条例の一部を改正する条例

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等に基づく通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料について、国から示された再交付手数料相当経費に準じ、通知カードを500円、個人番号カードを800円とし、従来の住民基本台帳カードの交付に係る事務を削除するものとす。

個人を識別するための番号の利用等に関する法律等に基づく通知カード及び個人番号カードの再交付に係る手数料について、国から示された再交付手数料相当経費に準じ、通知カードを500円、個人番号カードを800円とし、従来の住民基本台帳カードの交付に係る事務を削除するものとす。

議案第4号 全員賛成
ドラムの里の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

ドラムの里の有効な活用及び適正な運営を推進するため、交流館、情報館、食の文化館及び物産館という複数の機能に対応出来るよう、複数の指定管理者を置くことができる旨の規定を加えるものです。併せて、栄町個人情報保護条例の一部を改正する条例により、引用している規定の整理を行うものです。

議案第5号 全員賛成
指定管理者の指定について
ドラムの里の一部の管理を指定管理者に行わせるため、議会の議決を求めたものです。

指定管理者
株式会社 秋葉牧場
指定の期間
平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

この株式会社秋葉牧場いわゆる「成田ゆめ牧場」が管理する施設は、交流館の一部37㎡、食の文化館140㎡、物産館143㎡及びその他これらの施設と一体となつて管理する施設又は用地です。

議案第6号 賛成多数
指定管理者の指定について

ドラムの里の一部の管理を指定管理者に行わせるため、議会の議決を求めたものです。

指定管理者
特定非営利活動法人 栄町観光協会

指定の期間
平成28年4月1日から平成31年3月31日まで

栄町観光協会が管理する施設は、交流館の一部40㎡、情報館15㎡及びその他これらの施設と一体となつて管理する施設又は用地です。

議案第7号 賛成多数
平成27年度栄町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ

2億1,223万4千円を増額し、総額69億5,747万1千円とするものです。
増額の主なものは、歳入では、国庫・県支出金及び繰越金などによるものです。歳出では、安食駅南北自由通路の未塗装部分に係る事前設計等業務委託、個人番号カードの交付に要する日々雇用職員賃金、水田自給力向上対策事業補助金及び財政調整基金積立金などによるものです。

議案第8号 全員賛成
平成27年度栄町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ1億178万円を増額し、総額32億2,909万7千円とするものです。
増額の主なものは、歳入では、繰越金によるものです。歳出では、財政調整基金積立金、償還金及び還付加算金などによるものです。

議案第9号 全員賛成
平成27年度栄町介護保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ4,181万3千円を

増額し、総額14億6,810万2千円とするものです。

増額の主なものは、歳入では繰越金によるものです。歳出では、財政調整基金積立金、償還金及び還付加算金などによるものです。

議案第10号 全員賛成
平成27年度栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ1,930万6千円を増額し、総額5億7,570万5千円とするものです。増額の主なものは、歳入では繰越金によるものです。歳出では、終末処理場設備などの修繕料及び下水道財政調整基金への積立金によるものです。

議案第11号 全員賛成
平成27年度栄町矢口工業団地拡張事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1億9,900万円を増額し、総額6億3,701万7千円とするものです。

増額の主なものは、歳入では土地購入費及び補償費について「日本食研ホール

ディングス株式会社」が負担するものです。歳出では、土地購入費、補償費をそれぞれ増額するものです。

議案第12号 全員賛成
平成27年度栄町一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ388万6千円を増額し、総額69億6,135万7千円とするものです。

増額の主なものは、歳入では、財政調整基金繰入金、道路及び学校施設の災害復旧事業債によるものです。歳出では、台風18号による大雨で被災した公共施設の復旧工事などによるものです。

認定第1号、第5号

全員賛成

平成26年度各会計歳入歳出決算の認定について

決算認定の審査を行うため、議長および議会選出の監査委員を除く全議員11名による決算審査特別委員会を設置のうえ、3日間にわたり各常任委員会の所管事項別に質疑を行い、採決した結果、5会計決算とも委員会において承認すべきとされ、本会議においても可

決承認されました。

報告第1号 健全化判断比率の報告について

監査委員の審査に付した平成26年度決算における健全化判断比率について、健全段階にある旨を報告するものです。

報告第2号

資金不足比率の報告について

平成26年度公共下水道事業特別会計決算額は、実質収支額が黒字となっており、資金不足比率は算定されず、健全段階にある旨を報告するものです。

平成27年度

第1回臨時会

7月臨時会が7月24日に招集され、3議案が原案のとおり可決されました。

議案第1号 全員賛成

平成27年度栄町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ730万1千円を増額し、総額67億4,523万7千円とするもの

です。

議案第2号 全員賛成
平成27年度栄町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ962万3千円を増額し、総額31億2,731万7千円とするものです。

議案第3号

平成27年度栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ200万円を増額し、総額5億5,639万9千円とするものです。

**町政の
ここが知りたい
一般質問**

安食駅前の活性化について

栄谷 茂樹

問 安食駅前が、自由通路のエレベーターが完成し、トイレや駐輪場が少し綺麗になった。しかし、駅前には閑散とし、空き店舗や空き地もあり栄町の顔と言える

ような状況ではない。今後、どの様に安食駅前の活性化と賑わいの場づくりを進めていこうと考えているのか。

答 駅前の活性化については、安食駅南側地域に人口を増加させることが一番の課題であり、駅南側地域の人口が増加すれば、必然的に活性化が図れるものと考えられる。

具体的には、①駅周辺地域への人口誘導と居住スペースの拡大を進めるため、空き地の活用、新たな住宅地の開発誘導、空き住宅や空き室の活用を進める。②駅周辺に飲食店を中心とした商業施設の誘致を進めるため、空き店舗や空き地の活用を支援していきたい。③空き店舗活用対策補助金の制度について、PRを行い、その活用を促進させる。④駅前の空き店舗は、市街化区域内の他の空き店舗より、町全体に与えるイメージダウンが大きいことから、駅前が賑わうよう、飲食店等を誘導するための手立てとして、補助金の上乗せを検討していきたい。⑤町商工会と連携し、金融

機関との協議の場を多くし、事業者の意向を踏まえた条件整備をしていきたい。なお、将来的な課題ではあるが、成田スカイアクセス線成田湯川駅や北総線の印旛日本医大駅へのバス運行なども検討している。

また、賑わいの場づくりについては駅前の活性化を進めることにより、駅前が賑わうようになるものと考えている。エレベーター壁面等の活用、駅周辺看板のサイン化、シーズンイルミネーション事業、駅前子育て施設の整備やチャレンジショップの促進などを考えている。

子育て支援対策の充実に
ついて

橋本 浩

問 現在、当町の総合戦略案では、子育てしやすいまちづくりを大きな事業として取り上げ、各種施策を計画している。そこで、平成26・27年度においてどのような子育て支援対策事業を行ったか。また今後、どのような事業に取り組む方針なのか。

答 平成26年度には、子育て

て家庭の経済的負担軽減として、第2子以降を出産した場合に赤ちゃん子育て支援金を交付した。また、定住・移住奨励金対象者で第2子以降がいる場合に加算金を交付した。その他、保育事業、子ども医療費助成事業などを実施した。

平成27年度には、地方創生先行型事業として、出産した場合に祝い金を交付している。また、定住・移住奨励金の子ども加算金を第1子まで拡大している。加えて、安心して子育てができるよう8月からふれプラ2階で子育て相談事業を開始した。その他、病児・病後児保育事業、ベビーシッター支援事業などを実施している。

今後の取組として、1つ目として、私立幼稚園の認定こども園化支援や民間小規模保育事業への支援を行うっていく。2つ目として、通勤時に安食駅前保育園をお預かりし保育開始までに送迎する、園児の駅前送迎サービス事業を行っていく。3つ目として、子育て情報のスマホメールの発信事業を行っていくことなどを考えている。なお、母子家庭への支援策も検討中である。

栄町のごみの減量化・資源化の推進について

高萩 初枝

問 カセットボンベ等爆発事故多発のため、穴開けせず回収できないか。また、ごみ減量は、印西地区環境整備事業組合で検討している次期中間処理施設の建設費の負担にも影響する。一人当たり430gは大変厳しい数値だが、本当に進める覚悟はあるのか。

答 全国で、カセット式ガスボンベやスプレー缶による爆発事故が起きていることから、町としても住民の方々の安全が最優先であると考えている。現在、栄町、印西市、白井市から収集されたカセットボンベ等の最終処理は、印西地区環境整備事業組合で行っており、穴を開けない方法で回収できないかについては、組合の会議で取り上げられている。町としては、組合に対し、住民の方々の安全のために住民の穴あけ作業をしないですむように働きかけて行きたい。

平成35年度の目標値である1人1日当たりの家庭系ごみ排出量430gについては、栄町ごみ減量化推進計

画に基づき、平成23年度排出量の約22%を削減するために、生ごみの推進を始めとする様々な施策を講じて達成したい目標である。町としては、町民に減量施策を強いて行くつもりはなく、あくまでも協力してもらおう姿勢であり、この430gは、町の施策として、ごみ減量化施策を重点的に進める表れと考えている。

消防の広域化について

大野 徹夫

問 栄町の消防広域化は、以前から課題となっており、議会でも質疑があったが現在どのような進捗状況にあるのか。

答 消防広域化については、平成25年10月から成田市消防本部に検討をお願いしており、検討に必要な栄町の資料等を提供して、話し合いを開始した。

一方、千葉県に対しても成田市との消防広域化にかかわる支援をお願いしており、千葉県知事に対して町長から消防広域化に対する支援を直接お願いしている。

その後、成田市との話し合いを数回持ったが、成田市においては内部で検討中との回答である。

このような状況の中、平成27年5月に成田市消防本部に伺ったところ、課題も

あり検討には、かなり時間がかかるとのことである。そして、8月5日成田市副市長に副町長が会って検討状況について問い合わせたところ、成田市は、広域化は重要な課題として検討を行ってきたが、早急に広域化を図ることに対しては難しいとの回答である。

一方、大災害はいつ起こるかわからないことや、消防職員は人面で硬直化が進んでいることなどから消防の広域化は待ったなしと考える。そのため、町としては今後、印西地区消防組合消防本部にも消防広域化に関わる働きかけを行っていくと考える。

10月に政府に提出予定の総合戦略の中の観光戦略と今後の計画

野田 泰博

問 国の交付金で活性化を図ろうとする今回の総合戦略で一番力を入れている観光戦略について、外国人観

光客を増やすには何をすべきか。

資金はどのように必要か。職員、町民の育成はどう考えているのか。

答 総合戦略の当町の考え方としては、①将来の減少を出来るだけ食い止め、社会増減をゼロにする。人口構造を変革することを第1の目標としている。②国では先駆性と将来性を求めているため、それに合わせた戦略を策定することとしている。

この考えに基づき、まず総合戦略Iとして、成田空港から近いことから多くの外国人観光客が日本を体験できる栄町づくり。次に総合戦略IIとして、若者が暮らしやすく働きやすい栄町づくりの2本の柱で策定している。

資金については、平成26年度補正予算に地方創生先行型事業（町の経済を活性化する事業）の内、観光関係として9,050千円、本定例会への補正予算に地方創生先行型上乘せ事業として、13,341千円を計上し、平成28年度以降については交付金のついた範囲内で実施するが現時点では未定である。

職員、町民の育成について

では通訳、太鼓、着付けなどボランティアの協力が必要となってくるため各種教室やサークルなどに協力を求めていく。

総合戦略は起爆剤になると考えており、チャレンジする施策が多いためその成果を見極め総合戦略と各種計画などの施策のつながりを強めることで施策のステップアップを図り効果を高めていきたい。

栄中、東中の統合から5ヶ月経過の状況について

戸田 栄子 問 昨今、中学生のいじめ、自殺、深夜外出による事件などが後をたたない。夏休み終了直前にも全国で131件の中学生の自殺があった。統合後の栄中の様子、栄町の小中学校のいじめや不登校の数と総括、今後の対応策を伺う。

答 栄中の生徒は、生活全般に落ち着いた態度で、授業態度も良好である。部活動も活性化し、技能や精神力の向上により、夏の総合体育大会では4つの部が県大会出場、卓球部は関東大会に出場した。いじめには、どの子ども

その他の一般質問

染谷 茂樹

○国民健康保険会計の財政健全化について

橋本 浩

○空き家・空き地対策の推進について

大野 徹夫

○矢口工業団地の拡張事業について

野田 泰博

○人口増を目指しているが、若者の転入者の施策で大切な取組について

○栄町のコンパクトシティ化と鎌ヶ谷本埜線県道の進捗状況について

○夏場の樹木伐採収集について

戸田 栄子

○来年1月から運用開始される「マイナンバー制度」について

※請願書及び陳情書については、議会運営委員会の審査を受けることを原則としていたため、11月20日(金)必着で提出くださるようお願いいたします。

編集後記

今夏は昨年と同じく猛暑でしたが、この頃はだいぶ秋も深まりました。

さて、10月10日に当町の町制施行60周年記念式典が開催されました。功労賞を受賞された方々には深く感謝の意を表したいと思えます。また、先人たちのこれまでのご尽力に敬意を表し、私も栄町発展の為、力を尽くす気もちを新たに決意したところです。

編集担当

橋本 浩

発行者 栄町議会だより編集委員会
橋本浩 (委員長)、菅原洋之 (副委員長)
山田真幸、松島一夫、藤村勉、大野徹夫
連絡先 栄町議会事務局
栄町安食台一丁目2番
☎ 33-7715、☎ 95-4274
✉ gikai@town.sakae.chiba.jp

○この議会だよりは、要約を掲載しています。
○ご意見・ご要望をお聞かせください。
12月定例会は、12月1日(火)～11日(金)の予定です。